

二〇一九（平成三十一）年度 三重短期大学推薦入学試験問題（小論文）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

永田和宏『知の体力』（新潮新書 二〇一八）より。  
（\*は中略を示す。原文からコーラードンに関する学術的記述及び、他者の著作からの引用部分を省略している。）

設問

問題一 傍線部 A 「ここ」で言いたいのはもう少し別の観点である」とあるが、筆者の言う「別の観点」とは何か、九〇字以内で説明しなさい。

問題二 傍線部 B 「知識としての価値」とは何か、一〇〇字以内で説明しなさい。

問題三 傍線部 C 「そのときに、あらかじめ自分の持っている知のスペクトルが広ければ広いほど、動員できる<sup>やかす</sup>人数が多くなるのは言うまでもないだろう」に示されている筆者の見解に対するあなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。